

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度



 **株式会社 FRPカジ**

対象期間：2023年 10月 ～ 2024年 9月

2024年 10月 7日 発行

目 次

1. 組織の概要及び対象範囲
2. 環境経営方針
3. 環境経営目標
4. 環境経営計画と取組実績及び評価
5. 次年度の取組内容、及び中期目標
6. 環境関連法規等の厳守状況の確認及び評価の
結果並びに違反、起訴などの有無
7. 代表者による全体評価と見直し結果・指示

I. 組織の概要及び対象範囲

(1)事業所名および代表者氏名

本社、R&Dセンター

代表取締役 佐藤 政志

(2)所在地

本社 〒258-0122 神奈川県足柄上郡山北町都夫良野2-1

R&Dセンター 〒258-0113 神奈川県足柄上郡山北町山北2592

(3)環境管理責任者・連絡担当者

環境管理責任者 佐藤 政志

T E L : 0465-75-2893

F a x : 0465-75-2895

E - m a i l : masashi@frpkaji.co.jp

連絡担当者 磯崎 枝里

E - m a i l : isozaki@frpkaji.co.jp

(4)事業活動の内容

FRP製品製造、改修・補修工事、塗装工事

技術評価事業

(5)事業規模

売上額 7370万円

従業員数 9名

事務所床面積 240㎡

工場面積 830㎡

工事件数： 6件

対象期間：2023年10月～2024年9月

(6)対象範囲

認証・登録対象組織

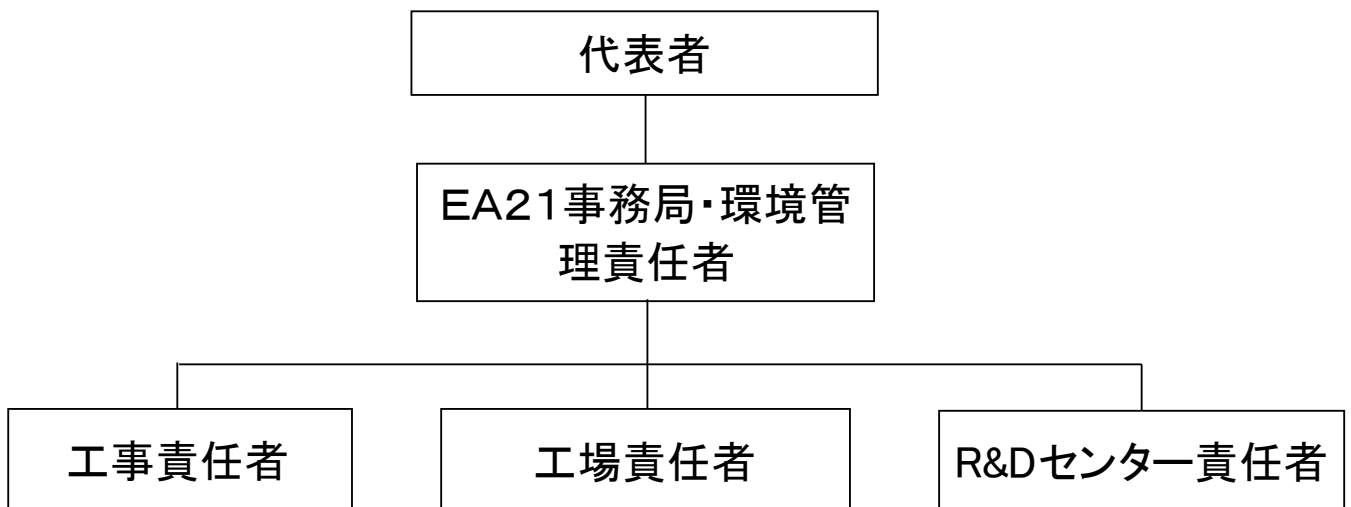
株式会社 FRPカジ

本社、R&Dセンター

認証・登録対象活動

FRP製品製造・改修・補修、塗装工事

技術評価事業



業務分担表

主要担当業務	
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 2. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 3. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 4. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 5. 環境コミュニケーションの実施（環境活動レポートの作成） 6. 手順書作成及び運用管理 7. 緊急事態への対応の手順書作成、テスト、訓練を実施し記録を作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育 訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 4. 建設現場の作業員への簡単な教育（騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応）、指示 ＊下請等の協力会社作業員含む
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

2. 環境経営方針

基本理念

株式会社FRPカジはFRP製品製造、改修工事、補修工事、塗装工事、技術相談、技術評価受託などの事業を展開している。その環境負荷を認識し、地域の豊かな自然を次世代に伝えます。そのために従業員一同は環境問題の基礎的知識を高め、循環型社会の構築と地球温暖化防止の活動に継続的に取り組みます。

行動方針

1. 当社の事業活動による環境負荷削減を実行する為に、経営における課題とチャンスを踏まえ、下記の行動指針を定め全従業員で取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水使用量の削減
 - ③ 廃棄物の発生抑制、削減（建設リサイクルの促進）
 - ④ 化学物質.の削減
 - ⑤ 地域貢献活動の推進
 - ⑥ 環境調和型の製品及び、サービスの提供推進する。
2. 環境関連法規・その他と環境関連の要求などの遵守をします。
3. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
4. 全従業員にこの環境方針を周知します。

制定日 2022年 10月 1日

株式会社 FRPカジ

代表取締役 佐藤 政志

3. 環境経営目標

環境経営目標	基準(実績)	年度目標	中期目標		
	2021年度	2022年度 (2022年11月 ～2023年9月)	2023年度 (2023年10月 ～2024年9月)	2024年度 (2024年10月 ～2025年9月)	2025年度 (2025年10月 ～2026年9月)
	通年(2021年10月 ～2022年9月)				
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 19,770 kg-CO ₂	1%削減 17,939 kg-CO ₂	2%削減 19,374 kg-CO ₂	3%削減 19,176 kg-CO ₂	4%削減 18,979 kg-CO ₂
2. 電力使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.443kg-CO ₂ /kWh)	25,765 kWh (11,413kg-CO ₂)	24,649kWh (10,918kg-CO ₂)	25,249kWh (11,184kg-CO ₂)	24,992 kWh (11,070kg-CO ₂)	24,734 kWh (10,956kg-CO ₂)
3. 自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.31kg-CO ₂ /L)	1,209 L (2,804kg-CO ₂)	1,105 L (2,563kg-CO ₂)	1,184 L (2,747kg-CO ₂)	1,172 L (2,719kg-CO ₂)	1,160 L (2,691kg-CO ₂)
4. 自動車燃料(軽油)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.31kg-CO ₂ /L)	902 L (2,329kg-CO ₂)	793 L (2,052kg-CO ₂)	892 L (2,305kg-CO ₂)	883 L (2,282kg-CO ₂)	874 L (2,259kg-CO ₂)
5. 灯油使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.31kg-CO ₂ /L)	1,117 L (2,781kg-CO ₂)	791 L (1,969kg-CO ₂)	1%削減 1,105 L (2,781kg-CO ₂)	2%削減 1,094 L (1,969kg-CO ₂)	3%削減 1,083 L (1,949kg-CO ₂)
6. 廃棄物排出量の削減	(一廃排出量) 108kg	1%削減 98kg	2%削減 105kg	3%削減 104kg	4%削減 103kg
7. 産業廃棄物排出量の削減	(産廃排出量) 12,250kg	1%削減 12,127kg	2%削減 12,005kg	3%削減 11,882kg	4%削減 11,760kg
8. 水使用量の削減	(水使用量) 317 m ³	維持管理 309 m3	維持管理 317 m ³	維持管理 317 m ³	維持管理 317 m ³
9. 化学物質使用量の削減	ユピカ4072(A)PT-3EX 1,800kg	1%削減 1,782kg	2%削減 1,764kg	3%削減 1,746kg	4%削減 1,728kg
10. 製品の品質確保 (不良品率削減)	(不良品率) 4%	(不良品率) 3%	(不良品率) 2%	(不良品率) 2%	(不良品率) 2%
11. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	スチレンが含まれている化学物質を使用していた	ノンスチレン・バイオマスの方に 随時変更の検討	ノンスチレン・バイオマスの方に 随時変更の検討	ノンスチレン・バイオマスの製品 実験実施	ノンスチレン・バイオマスの製品 実験実施

4. 環境経営計画と取組実績及び評価

NO.	推進項目	年度目標	結果確認	評価	達成の要因 未達成の原因	未達成場合の是正措置・予防処置
1	二酸化炭素排出量の削減	2%の削減(98%) 19,770 kg-CO2 ↓ 19,374 kg-CO2	5%増加 20,658 kg-CO2	×	・電気使用量が増えたため二酸化炭素排出量も併せて増えた。	・窓に遮熱シートを貼る。 ・エアコンの設定温度を上げる。 ・使用していない場所はこまめに空調を切る。
2	電気使用量の削減(二酸化炭素排出量の削減)	1%の削減(99%) 25,765 kWh ↓ 25,249 kWh	18%増加 30,399 kWh	×	・例年以上に30℃以上の日が多くあったため、エアコン使用量が増えたため、電力使用量が増えた。	・窓に遮熱シートを貼る。 ・エアコンの設定温度を上げる。 ・使用していない場所はこまめに空調を切る。
3	車燃料(ガソリン)の削減(二酸化炭素排出量の削減)	1%の削減(99%) 1,209 L ↓ 1,184 L	25%増加 1,515 L	×	・大型の工事が入ったため、現場へ向かうためのガソリン使用量が増えた。	・エコ運転を心がける。
4	車燃料(軽油)の削減(二酸化炭素排出量の削減)	1%の削減(99%) 902 L ↓ 892 L	39%削減 544.8 L	○	・現場に向かう際に、ガソリン車の使用の方が多かった。	記載不要
5	灯油の削減(二酸化炭素排出量の削減)	1%の削減(99%) 1,117 L ↓ 1,105 L	23%削減 863 L	○	・灯油の使用の削減を心がけた。	記載不要
6	一般廃棄物排出量の削減	1%の削減(99%) 108 kg ↓ 105 kg	5%削減 102kg	○	・印刷ミスを起こさないように心掛けた。	記載不要
7	産業廃棄物排出量の削減	1%の削減(99%) 12,250kg ↓ 12,005 kg	440%増加 54,000 kg	×	・例年より大型の工事が入ったため、廃棄物の量が増えた。	・可能な限りリサイクルに回して、最終処分の量を減らす。
8	水使用量の削減	維持管理 309 m3	25%削減 234 m3	○	・節水を心掛けた。	記載不要
9	化学物質ユビカ4072(A)PT-3EX使用量の削減	1%の削減(99%) 1,800 kg ↓ 1,782 kg	16%増加 3,040 kg	×	・例年より大型の工事が入ったため、化学物質の使用量が増えた。	・ノンスチレン樹脂を使用した製品の試験を進め、ユビカ4072の使用量を減らす。
10	製品の品質確保(不良品の削減)	1%の削減(99%) 4% ↓ 3%	2%削減 2%	○	・製品制作時に不良品を出さない様に心掛けた。	記載不要
11	自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	ノンスチレンルームを整備し、ノンスチレン・バイオマス之物に随時変更	実行出来た。	○	・ノンスチレン樹脂を使用した製品の試験。	記載不要

5. 次年度の取組内容

環 境 目 標	実 施 事 項
1.二酸化炭素排出量の削減	・電力の二酸化炭素削減手順書の励行 ・空調機の適正温度の設定 ・昼休み時間の照明消灯 ・トイレは使用時のみ照明点灯 ・不要箇所の照明消灯
2.電力使用量の削減	
3.自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	・ガソリン使用量削減(エコドライブ)手順書の励行
4.自動車燃料(軽油)使用量の削減	・軽油使用量削減(エコドライブ)手順書の励行
5.灯油使用量の削減	・灯油使用 量の削減
6.廃棄物排出量の削減	・廃棄物適正処理手順書の励行
7.産業廃棄物排出量の削減	・産業廃棄物管理手順書の励行
8.水使用量の削減	・節水手順書の励行
9.化学物質使用量の削減	・ノンスチレンの製品実験を実施し、随時変更
10.製品の品質確保 (不良品率削減)	・不良品が発生しない様、製品制作時に注意を払う
11.自らが生産・販売・提供する製品の 環境性の向上及びサービスの改善	・ノンスチレン・バイオマスの製品実験を実施し 環境に配慮した製品の製作

6. 環境関連法規等の厳守状況の確認及び評価の
結果並びに違反、訴訟などの有無

適応法令	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
浄化槽法	・本社工場、R&Dセンター
消防法	・少量危険物の取扱
	・消火器、自動火災報知設備等
廃棄物処理法	・一般廃棄物
	・産業廃棄物
家電リサイクル法	・テレビ、冷蔵庫、エアコン等
自動車リサイクル法	・社用車
安衛法	・本社工場
特化則	・本社工場
有機則	・本社工場

環境関連法規への違反はありません。
なお、環境当局より違反等の指摘はありません。

7. 代表者による全体評価と見直し結果・指示

(1)実施日

2024年10月07日(月)

(2)外部からの苦情や要望及びその対応結果

無し

(3)代表者の見直し

①環境経営方針の変更の必要性：なし

②環境経営目標及び環境経営計画の変更の必要性：なし

③実施体制の変更の必要性：なし

◆総括

今回の評価結果及び指示内容等

- ・ 異常気象が多いがそれでも無理のない範囲で
冷暖房の電力使用量を抑え、CO2排出の削減に務めること。